
望月陸夫* 秋田県男鹿半島の植物補遺

Rikuo MOCHIZUKI* : A Supplementary List of Vascular Plants in
Oga Peninsula, Akita Pref.

筆者は先に本会より秋田県男鹿半島の植物(1966)を著わしたが、その後の調査により30種余の新産植物を見出したので追録する。八郎潟干拓地内(大潟村)の植物の多くは八郎潟湖岸周辺に由来すると思われるので、男鹿半島地域に含めることにした。

この6年間に男鹿半島の植生の変化も見ることができる。当時の寒風山上部一帯はシバ草原であったが、現在ではススキ草原に遷移しつつあるし、本山のスギ天然林の伐採、自然破壊にともなう帰化植物の侵入も著しい。特に半島西海岸の海崖に建設された有料道路による影響は著しく、原生の海崖草原植生およびその上側に隣接する天然のケヤキ林、シナノキ林などが道路ぞいに帯状に破壊されていることを付記しておく。

(1) *Ophioglossum vulgatum* LINN. ヒロハハナヤスリ

寒風山。秋田県植物誌(村松七郎, 1932)には同山に産することが記録されていた。秋田県内では少ない植物である。

(2) *Mecodium wrightii* (v. d. B.) COPEL. コケシノブ

本山のスギ天然林内。この植物も秋田県植物誌に真山産として記録されている。

(3) *Diplazium nipponicum* TAGAWA オニヒカゲワラビ

本山のスギ天然林内。最近になって秋田県内に分布することが知られた植物(桑山邦享・望月陸夫, 秋田県太平洋山の植物, 1964)で、既知産地として、象潟町小滝, 秋田市龍馬山がある。

(4) *Dryopteris uniformis* (MAKINO) MAKINO オクマワラビ

加茂海岸カシワ林内。現地でのメモだけによるもので再検討の要あり。

* 秋田県立湯沢高等学校 Yuzawa High School, Akita Pref.

- (5) *Lepisorus onoei* (FR. et SAV.) CHING ヒメノキシノブ
毛無山。極めて少ない植物で秋田県内の他産地としては象潟町小滝だけである。
- (6) *Juniperus rigida* SIEB. et ZUCC. ネズ
毛無山西部斜面の崩壊地に見られる。これは当時の男鹿市理科センター永田耕造氏の案内による。直立して高さは2-3 mとなる。秋田県植物誌には戸賀として記録されており秋田県唯一の産地である。
- (7) *Potamogeton pectinatis* LINN. リュウノヒゲモ 大潟村。
- (8) *Zostera nana* ROTH コアマモ 船越。
- (9) *Hydrocharis dubia* (BLUME) BACKER トチカガミ 八竜。
- (10) *Vallisneria asiatica* MIKI セキシウモ 大潟村。
- (11) *Agrostis palustris* HUDSON ハイコヌカグサ (北半球温帯北部原産)
大潟村。
- (12) *Cleistogenes hackelii* (HONDA) HONDA チョウセンガリヤス 加茂。
- (13) *Eragrostis curvula* NEES シナグレスズメガヤ (南アフリカ原産)
大潟村では道路の両側に植え込まれている。
- (14) *Festuca myuros* LINN. ナギナタガヤ (野生化)
- (15) *Carex capricornis* MEINSH. ジョウウロウスゲ
大潟村。干拓前は八郎潟湖岸の水湿地に生育していたものと推定される。日本では北海道と本州関東地方に稀産することが知られていたが、秋田県植物誌には秋田市に産するとの記録がある。
- (16) *Carex oxyandra* (FR. et SAV.) KUDO ヒメスゲ
毛無山崩壊地。
- (17) *Carex scabrifolia* STEUD. シオクグ
浜間口、大潟村。
- (18) *Juncus bufonius* LINN. ヒメコウガイゼキシウ
大潟村。稀産種である。
- (19) *Lycoris radiata* (L' HERIT.) HERB. ヒガンバナ
松田孫治氏によると門前に産するとのことである。
- (20) *Calanthe tricarinata* LINDL. サルメンエビネ 本山。
- (21) *Listera makinoana* OHWI アオフトバラン
本山のスギ天然林内。秋田県では極めて稀な植物であり、他に太平山に産することが知られているにすぎない。
- (22) *Polygonum maackianum* REGEL サデクサ
船川第一小学校長の西村正氏によって若美町八郎潟残存湖岸で発見された。稀産である。
- (23) *Silene gallica* LINN. シロバナマンテマ (ヨーロッパ原産) 加茂。
- (24) *Wasabia japonica* (MIQ.) MATSUM. ワサビ
上記西村正氏の発見による。 加茂。

- (25) *Chrysosplenium japonicum* (MAXIM.) MAKINO ヤマネコノメソウ

加茂。秋田県教育庁博物館準備室高田順氏の採集品による。

- (26) *Spiraea miyabei* KOIDZ. エゾノシロバナシモツケ

加茂の海岸に近い林内で国立科学博物館付属自然教育園奥田重俊氏の採集したものである。秋田県産の同属植物のものとしてはアイズシモツケに似るが、葉は鋭重鋸歯であること、花序が複繖房状であることにより区別できる。秋田県では初めての記録である。

- (27) *Stephanandra incisa* (THUNB.) ZABEL コゴメウツギ

上記エゾノシロバナシモツケのあった付近で著者による発見である。コゴメウツギの日本における分布は日本海側では少なく、中でも秋田県と富山、石川県からは確実な報告がなかった。管内国有林植物目録（秋田営林局、1934）には県内「各地」に産すると記されているが疑わしい。

- (28) *Trifolium incarnatum* LINN. ベニバナツメクサ（ヨーロッパ原産）

加茂で開花中の本品を得た。秋田県では初めてである。

- (29) *Viola yezoensis* MAXIM. ヒカゲスミレ

西村正氏により八望山西側斜面で見出された。秋田県では稀な植物である。

- (30) *Ammannia multiflora* ROXB. ヒメミソハギ

国立科学博物館奥山春季氏からの私信による。

- (31) *Veronica kiusiana* FURUMI var. *villosa* (FURUMI) YAMAZAKI ヒロウドトラノオ
毛無山西側下部の岩場で採取。種内変異の多い植物である。

- (32) *Anthemis cotula* LINN. カミツレモドキ（ヨーロッパ原産）

最近になって本県に入り込んだ植物と思われる。加茂。

- (33) *Matricaria matricarioides* (LESS.) PORTER コシカギク

北浦。秋田県初産である。日本海側では南限産地と思われる。

- (34) *Poa acroleuca* STEUD. var. *submoniliformis* MAKINO タマミゾイチゴツナギ
加茂。

- (35) *Carex longerostrata* C. A. MEY. ヒエスケ 加茂。

- (36) *Primula jesoana* MIQ. オオサクラソウ 毛無山。

- (37) *Anemone raddeana* REGEL アズマイチゲ 加茂。

Summary

The present writer wrote "Florula of Oga-Peninsula in Akita-Ken" in 1966 in this association. Since then he has found some 30 new plants, which he is going to add to the list above mentioned. Most of the plants in the reclaimed land of Hachirogata (Ogata Village) seem to have naturalized together with the plants in the district of Oga Peninsula in the following.

The remarkable species are as follows : *Diplazium nipponicum*, *Lepisorus onoei*, *Juniperus rigida*, *Carex capricornis*, *Spiraea miyabei*, *Stephanandra incisa*, *Matricaria matricarioides*, *Primula jesoana*.